

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年1月30日

上場会社名 株式会社北川鉄工所

(コード番号：6317 東証第1部)

(URL <http://www.kiw.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 北川 祐治

(TEL：(0847)45-4560)

責任者役職・氏名 取締役経営管理統括 安藤 攻

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理 : 無
の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1) 売上高

(注) 金額は百万円未満の端数を切捨てて表示しております。

| | 百万円 | % |
|-------------|--------|---|
| 16年3月期第3四半期 | 22,838 | - |
| 15年3月期第3四半期 | - | - |
| (参考)15年3月期 | 30,383 | |

(注) 1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2. 当期より四半期業績の開示を実施しておりますので、前年同四半期及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

当該四半期におけるわが国経済は、依然としてデフレの進行や厳しい雇用情勢、個人消費の低迷が続いているものの、企業収益の回復や更新需要による設備投資の増加、中国・ASEAN諸国等のアジア向け輸出の増加に加え、米国経済の回復に明るさが増していることから、全体としては回復の兆しが強まってきた状況であります。

こうした状況のなか、当社グループにおきましては、工作機器事業、素形材事業は、自動車関連を中心に好調な受注が続き、住環境事業も概ね計画どおりに推移いたしました。一方、産業機械事業においては、公共工事の大幅な減少により事業環境が一段と悪化するなか、環境関連設備をはじめとした新商品の開発、販売に注力してまいりました。その結果、売上高全体としては概ね当初計画の範囲で推移いたしました。

なお、素形材事業においては、前連結会計年度に比べ連結子会社が1社増加しております。

| | 当該四半期 | | (参考) 前連結会計年度<通期> | |
|--------|--------|-------|---------------------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 産業機械事業 | 7,143 | 31.3 | 10,395 | 34.2 |
| 工作機器事業 | 4,492 | 19.7 | 5,070 | 16.7 |
| 素形材事業 | 7,192 | 31.5 | 8,394 | 27.6 |
| 住環境事業 | 4,009 | 17.5 | 6,522 | 21.5 |
| 合計 | 22,838 | 100.0 | 30,383 | 100.0 |

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象はありません。

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想の見直しは行っておりません。

以上